

夏山集中登山山行報告書

笠ヶ岳

松嶋

山名	笠ヶ岳	山行名	夏山集中登山
ルート	新穂高温泉～わさび平小屋泊～笠新道登山口～笠ヶ岳山荘泊～笠新道登山口		
山行日	2024年8月2日(金)～4(日)	天候	1日目：晴、2日目：晴/曇、3日目：晴
参加者	CL：松嶋 SL：森本 メンバー：土岐、中村 合計：4名		

ルート概略図 	コースタイム					
	地名		時：分	地名		時：分
	1日目 新穂高温泉	集 発	— 12：38	2日目 笠ヶ岳山頂	着 発	13：41 14：31
	1日目 わさび平小屋	着 発	14：28 5：23	3日目 笠ヶ岳山荘	着 発	14：42 5：10
	2日目 笠新道登山口	着 発	5：33 5：38	3日目 笠新道分岐	着 発	6：33 6：43
	2日目 笠新道分岐	着 発	11：24 11：25	3日目 笠新道登山	着 発	10：11 —
	2日目 笠ヶ岳山荘	着 発	13：13 13：35		着 発	

山行データ

1日目：8/2(金)1時間49分(休憩0時間33分)距離4.2km上り328下り24m  
 2日目：8/3(土)9時間19分(休憩2時間04分)距離8.2km上り1,720下り310m  
 3日目：8/4(日)4時間57分(休憩0時間36分)距離6.4km上り171m下り1,600m

2日目、いよいよ本番。聞く人全てが「急登」「しんどい」と言われるが如何程なのか。気温高めで登り始めて早々に汗だくになる。6時間程で稜線に出るがガスの中。アルプスの峰々を見ながらの稜線歩きを期待したが残念。足元の花の写真を撮りまくる。テント場の中を雷鳥の親子がチョコチョコ歩いている。そのうち登山道を歩き始めて雷鳥を先頭に登山者が後を付いて歩き、大名行列のようになった。山頂は無風で居心地よく50分もいたが周囲の眺望はあまり得られず下山。日の入り前になってようやく雲が取れて槍穂連峰と綺麗な夕日が見えた。

3日目、朝起きた時は槍が綺麗に見えていたが出発時には既に雲の中。今日も眺望は得られずこのまま下山かと諦めていたが5：40頃から雲が消え始めて周りの峰々が見えてきた。北側は黒部五郎、薬師、立山、水晶、鷲羽の百名山と日本海、南側は槍穂連峰に大キレット、ジャンダルム。焼岳、乗鞍、御嶽山の3山も綺麗に並んで見える。見慣れない方角からの景色で方位感覚が狂って位置関係が分からなくなる時もあったが、北アルプスの一番南の端っこで主稜線から外れている笠ヶ岳からはどんな景色が見えるのかが今回の目的の一つだったので360°全て見る事が出来て良かった。

ヒヤリハット 開始約2時間後、足が攣りペースを落とすが両足の各部分が攣り出したので、残りの行程と、翌日の急坂激下りを考えて下山を決断。下山と帰路のバス乗車を確認。

## 笠ヶ岳途中記

中村

初日は、真夏の林道歩き。風穴のお助け風が心地よい。ほどなくワサビ平に到着。ワサビなる小川近くの木陰で夕涼み。翌朝、双六岳チームを見送る。二日目は、笠新道の急な坂を登る。2ピッチを過ぎ、ふくらはぎが軽く吊る。1900mを超えたあたりで、槍・穂高・焼岳・乗鞍のパノラマに目を奪われた。足のももの上、左ひざ横の筋肉が吊って、無念の敗退。一人で新道分岐まで下る。その後、平湯よりバスにて帰京。



バスの中からの笠ヶ岳



雷鳥



サンセット



登山口にて



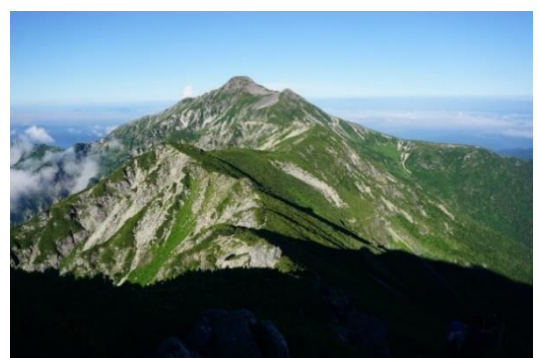
1泊目、双六岳チームと一緒に



🏔️山頂にて🏔️



笠ヶ岳からの稜線と槍ヶ岳



笠ヶ岳。容姿端麗な山容